

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 7月 25日

事業所名：さくらのみち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	適切です。個別と集団の時間で使うスペースを分けるなどの工夫が可能です。	今後も児童の年齢やプログラム内容により、適切なスペースを考えて活動して参ります。
	②	職員の配置数は適切である	5	0	個別支援が可能であるように職員の数を配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	・支援スペースには刺激になるような備品、掲示物は置かずに児童が落ち着いて過ごせる環境を整えています。 ・入室から手洗い、お仕度までの流れをイラストで可視化し提示しています。	職員の日々の話し合いの中で気がついたことを出し合い、児童が快適に過ごせる環境を考え実践して参ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・毎日、清掃を行います。 ・児童が使った道具、備品は終了後アルコール消毒を行います。	今後も職員を始め児童の入室時の手洗いや、検温を続けていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	日々の話し合いの中で、職員皆が気づいたことや意見を出し合えるような雰囲気を作っています。	職員同士が意見を出し合ったり、相談できる場や時間を意識して作っていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	-	-	開室して1年が経過し、今回が初めての実施になります。	今回の保護者様からの評価の結果は、職員間で共有して、職員個々のまた事業所全体の業務改善につなげます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	-	-	開室して1年が経過し、今回が初めての実施になります。結果をホームページで公開して参ります。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	現在のところ第三者による外部評価は行っておりません。	事業所が大きくなっていく過程で検討していきたいと思っております。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	年間研修計画に基づき、1回/月テーマを決めて、職員で研修を実施しております。また、個々の職員が興味を持った外部研修に参加しています。	職員が外部研修で得た情報や知識を共有する機会を作り、職員個々のスキル向上と全体の支援の質の向上に努めて参ります。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	日々の支援の振り返りやアセスメント会議を行い、児童の様子や課題を話し合った上で支援計画を作成しています。	今後も職員が児童の現状や課題を共有しながら、アセスメントを行い、支援計画を作成します。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	現状は決まったものを使うのではなく、職員間で情報共有しながらアセスメントを行っています。	いくつかのアセスメントツールを参照しながら、職員間でよいものを探していきたいです。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	児童発達支援ガイドラインの「本人支援及び移行支援」「家族支援」「地域支援」の内容は、職員間で研修を行っています。支援計画には主に「本人支援」の支援内容からその児童に必要な項目を具体的に設定します。職員は、日々の支援の中で、その内容を意識して実践しています。	現状は「本人支援」が主となっていますが、お子さんやご家族との関係が深まる中で、「家族支援」「地域支援」も意識した支援計画を作成して参ります。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	支援に入る職員は、毎回支援計画に基づいたプログラムを考えて実施しています。	引き続き継続して参ります。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	プログラムの内容は随時打合せをしながら立案しています。	個別活動の担当者を固定せず、集団活動のリーダーも交代しながら行うことで、職員全員が支援の質を高められるよう、日々勉強致します。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	個別活動の担当者を固定せず、集団活動のリーダーも交代しながら行うことで同じ支援計画でも様々な方法でアプローチすることが出来るようにしています。	これからも、児童のその日の様子、プログラムへの理解度、習熟度を見ながら、職員が流動的に活動プログラムを考えていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	1回の支援プログラムの中で個別活動と集団活動があるので、支援計画もそれに準じて作成します。	個別活動、集団活動両方を行うことで、児童の現状や課題がより把握しやすくなるので、それをもとに支援計画を作成して参ります。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	当日の朝にミーティングをして確認します。	支援前だけではなく、日ごろの職員間の会話の中でも情報共有を図っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	支援終了後に職員全員で振り返りを行い、情報共有を図っています。	今後児童の数が増えてきても、この時間は大切なので確保致します。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	支援終了後に記録は欠かさず書いています。	新しい職員が入ってきた時も、児童の過去の記録を見ることで、その児童の現在の様子や成長過程が把握できるので、日々の記録は丁寧に取り組んでいきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	月1回モニタリング会議を実施します。	モニタリング会議のほかに、保護者からご要望があった時や、職員間で気付きがあった時は、話し合いを行っています。
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達支援管理責任者が参加します。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	3	児童発達支援センターや相談支援事業所と連携をとり、アドバイスを頂いています。	各家庭の関係機関は、入会時や保護者様との随時の会話の中で確認致します。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			医ケアのお子様は現在在籍しておりません。	
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			医ケアのお子様は現在在籍しておりません。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	4	現在は保護者様や園からの要望がないため行っていません。	今後保護者様や園からご要望があったら、幼稚園や保育園と連携をとり、情報共有を図り移行支援を進めて参ります。またそうしたご要望を頂けるように、日ごろから療育やコミュニケーションを通して保護者様との信頼関係を築いて参ります。
	②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	5	まだ卒園生が出ていないため、連携はとっていません。	
	②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	電話でアドバイス等を頂いています。	これからも行政や専門機関が開催する研修には積極的に参加します。
	②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4	職員が近所の保育所や幼稚園を訪問することはありますが、支援は室内で行っているため子ども同士が交流する機会はありません。	障害のない子どもたちとの交流はなかなか機会がありませんが、そうした場が持てる方法を検討していきます。
保護者への説明責任等	③⑨ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	今まではそうした機会がありませんでした。	そうした情報を集めて、参加していきたいと思えます。
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	毎回支援後にその日の児童の様子を保護者様にお伝えしています。さらに連絡ノートも併用するようにしました。	とても大切なことなので、今後も保護者様とお話する時間はしっかりとって、共通理解を図っていきます。
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4	事業所内相談で家族支援を行っています。	保護者様にも事業所内相談があることを周知していきます。
	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に保護者様に説明しています。	わかりやすく丁寧に説明することを心がけて参ります。
保護者への説明責任等	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	個別支援計画を作成し、保護者様にご説明して同意を頂いています。	児童の現状を把握したうえで、児童発達支援ガイドラインの内容に基づき支援計画を作成し、保護者様に丁寧に説明して参ります。
	③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	児童の支援中に、待たれている保護者様と児発管でお話する時間をとっています。	相談しやすいような体制や雰囲気を整えて参ります。
	③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	現在は保護者会は開催していません。	今後利用者様が増えてきた時点で、保護者会を開催し、日ごろの活動内容をお話してご理解を頂くと共に、希望する保護者様同士が交流する場を提供したいと考えています。
	③⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	相談できる体制を整えています。	相談しやすい体制、雰囲気作りに努めて参ります。
	③⑰ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	5	会報は発行していませんが、Instagramなどで情報発信をしています。	
	③⑱ 個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	日ごろから個人情報書類は鍵付きの書庫に収納し取り扱いに注意しています。	個人情報の取扱いに細心の注意を払うように、職員間でも意識づけて参ります。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	子どもの特性に応じた個別対応を心がけています。	今後も社内の研修等を通じて職員に意識づけを行っていきます。
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	現在は行事等は行っていません。	地域の方と日ごろの挨拶やコミュニケーションを通じて、まずは事業所の存在を知って頂く事から始めています。
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	マニュアルを設置しています。	職員がマニュアルの内容を理解して運営に当たれるよう研修等の機会を設けます。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	2	年間訓練計画を立て職員で実施しています。	現在は職員のみで訓練を行っていますが、年に2回ほど児童がいる時間にも一緒に訓練を実施していく計画です。
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	契約時に個々に確認しています。	今後も保護者様から頂いた服薬やてんかんの情報は、職員で共有して参ります。
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	1	食物アレルギーの有無は確認していますが、食事の提供はしていません。	粘土の使用時や、今後イベントなどおやつなどの食物を扱う時は再度保護者様に確認するなど配慮します。
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	個々にシートに記入し、報告しています。	その場になかった職員も情報を共有出来るよう、回覧などで情報共有を徹底し、事故を防げるよう配慮します。
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	研修を実施しています。	施設内研修、外部研修に参加し、虐待防止に対する職員の意識を高めていきます。
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	契約時に身体拘束について保護者様に説明した上で、児童発達支援計画書にも記載しています。	契約時、支援計画の説明時に、保護者様に内容をしっかりお伝えして了解を頂くように努めます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。